

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2017年7月9日（日）

主 題：「神の恵みの内に生きる幸い」

—新しい契約の原理—

テキスト：ヘブル人への手紙8章7～13節

はじめに

- 私たちの聖書は、「契約」という文化の中で書かれています。イエス・キリストが来られるまでのことが旧約聖書に、イエス・キリストが来られた後のことが新約聖書に記されています。一般的に聖書と言うと、その旧約・新約の両方をさして「聖書」と呼びます。
- ところで、聖書と言う場合、それは「古い契約」と「新しい契約」という対比で言っているではありません。そうではなくて、一つの契約の古い部分と新しい部分のことで、「一つの契約」なのです。ですから両巻合わせて「一つの契約」であります。
- 別の言い方をすれば、聖書の中心人物である仲介者イエス・キリストを、旧約聖書は預言という形で語ってきました。そして新約聖書は、その預言の成就について記録しているとさえましょう。著者は次のように述べました。
- **8:7 もしあの初めの契約が欠けないものであったなら、後のものが必要になる余地はなかったでしょう。**

「初めの契約」というのは、神がシナイ山でモーセを通してイスラエルの民に与えられた契約のことです。それをシナイ契約（十戒）とも言います。しかし民はそのシナイ契約を守ることはできませんでした。契約はそれを結ぶ双方が守ることによって、有効となります（双務契約）。つまり民と神との双方です。しかし、民はその戒めである律法を守ることができませんでした。その意味で契約は結ばれたのではなく、「欠けた」ものとなりました。

- そこで大切なことは、神が律法をお与えになられたのは、民が初めから守ることができないのを知っておられ、無理難題を吹きかけられたのではないことです。律法が与えられたことによって、自分たちがいかにそれを守ることができない存在であるかを知らせるためでした。
- 人間が律法や律法を守ることができないのは、罪ある存在であるからです。不完全である者が完全なお方（神）と、契約を結ぶことはできません。しかし神はその不可能な契約を、イエス・キリストにあって成就してくださいました（片務契約）。ここに新しい契約の原理があります。そこには神の深い愛が秘められているのです。
- では、新しい契約の原理とは、どんなものでしょうか。今日のテキストから、次の3点を覚えることができます。

大切なポイント

1. 心に書きつける契約

8:10 それらの日の後、わたしが、イスラエルの家と結ぶ契約は、これであると、主が言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつける。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

- ・神が人の心の中に律法を書きつけるとは、神の律法、神の御心どおりのことが行えるようになるということです。別の言い方をすれば、神が人の心を新しくしてくださると言ってもよいでしょう。

- ・預言者エゼキエルは言いました。エゼキエル書

11:19 わたしは彼らに一つの心を与える。すなわち、わたしはあなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える。

11:20 それは、彼らがわたしのおきてに従って歩み、わたしの定めを守り行なうためである。こうして、彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

- ・神が人の心に律法を書きつけるとは、律法どおりに生きることができるよう、神がそういう新しい心を与えてくださることです。旧約聖書の預言者がすでに、そのように言っていることは驚くべきことです。神が新しい心を与えることによって、救われるのです。それは信仰によります。

- ・神はシナイ契約で十戒を与えられました。そこで神がもっとも嫌われる偶像礼拝が禁じられました。しかし民はそれを破りました。ですから神は預言者を送り、その罪を指摘し、悔い改めて、神に立ち返るように語りました。しかし預言者の語ることに耳を傾けず、ことにエレミヤに対しては迫害しました。

- ・エレミヤは「売国奴」呼ばわりされながらも、神のことばを語り、神がすばらしい救いの契約を立ててくださると言いました。神に逆らうイスラエルの民にも、主はあわれみ深いお方であり、新しい心を与え、彼らが神に立ち返るようにしてくださるといいます。

8:10 それらの日の後、わたしが、イスラエルの家と結ぶ契約は、これであると、主が言われる。わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつける。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

*新しい契約の第一は、神の律法は思いの中に、そして心の中に書きつけられることです。

2. すべての人が神を知る契約

8:11 また彼らが、おのおのその町の者に、また、おのおのその兄弟に教えて、『主を知れ。』と言うことは決してない。小さい者から大きい者に至るまで、彼らはみな、わたしを知るようになるからである。

- ・牧師や伝道者にとって、人々に神をほんとうに知ってもらうことは簡単ではありません。一生懸命、そして丁寧に説明し、知識的に伝達することはできるでしょう。しかし、ほ

んとうに神を知るところにまで至らせることは難しいことです。いくら神やキリストのことを証ししても、なかなか信じる人は起こされません。やっと信じる人が起こされたかと思うと、いつの間にか姿を消してしまうこともあります。

- しかし、神が人に新しい心を与えてくださる時には違うことが起こるのです。この新しい契約とは、私たち人間の懸命な努力によって結ばれるのではありません。神が人の心を新しくしてくださり、その人の一生を一新してくださることによって起こるのです。
- それが第二の特徴で、神が直接にお語りくださり、私たちと契約を結んでくださるのです。⇒ それこそ、パーソナル（個人）の関係です。
- 神主導であるからと言って、証しする必要はないというわけではありません。申し上げたい点は、私たちの努力よりも、心一新してくださる神のみわざに期待することが大切であるということです。

***新しい契約の第二は、神がパーソナルに直接働いてくださることです。** 旧約聖書時代は、神は特定の人（預言者など）を通してお語りくださいました。しかし、新約時代は神が私に個人的に臨んでくださるのです。そえは驚くべき、神の恵みです。

{例 話}

- 私は、こんな話を聞いたことがあります。
米国のあるカトリックの修道女（85歳）が、ひとりで修道院にいた時に、エレベーターの中に4日間閉じ込められてしまいました。内側からエレベーターの扉を開こうとしましたが、停電のために扉は開きませんでした。携帯電話は持っていましたが、電波はそこまで届いていませんでした。幸いなことに彼女は、水の入った壺、何本かのセロリの茎、そして数個の「のど飴」を持っていました。
- 最初は、「あり得ない!」と思ったそうです。
突然の出来事で、パニックになっても不思議でもありません。
皆さん! こういう時、人の本当の姿が現れるものです。彼女はそこで先ず、心落ち着かせました。すると次第に、そのエレベーターの中が個人的な祈りの場となりました。
- 救出された後、CNNのインタビューで彼女はこう答えました。
「パニックか、祈りかの二者択一でした。次第にそれが、神からの贈り物だと感じられるようになりました。神の隣在が私の力となり、喜びとなりました。私は神の隣在をその時に感じました。神が私を、より親しい関係に導かれたのだと思いました。」
- 皆さん。エレベーターの突然の停止は、シスターにとって神との交わり、神のご隣在を覚える時と変えられたのでした。神は今の時代、直接にパーソナルに臨んでくださいます。なんとという幸いではありませんか。
- 私が弱ったとき、私が気落ちした時、私が疲れた時、私が誤解を受け失望してしまった時……。神はそれらすべてのシチュエーションを知っていおられ、いいえ、そこに共にいてくださるのです。神はそこで私にパーソナルに、介入くださいます。それによって、私たちは神を経験するのです。
- 皆さん! 旧約聖書時代の人々、そして初代教会時代の人々は、神を経験しました。

“Experience your God” (あなたの神を経験しなさい)
 神とともにある生涯は、単に頭の知識ではありません。神を経験することです。⇒ それ
 が「信仰」なのです。

3. 罪の赦しの契約

8:12 なぜなら、わたしは彼らの不義にあわれみをかけ、もはや、彼らの罪を思い出さな
 いからである。

- はじめに言いましたが、契約は双方が責任を果たすことによって結ばれるものです (双務契約)。しかし、イスラエルの民はその責任を果たせませんでした。いいえ、むしろ契約を破ってしまいました (これこそ人間の姿)。
- 聖書が教える新しい契約は、双方の合意に基づく双務契約ではありません。いいえ、神が新しい契約として与えてくださったものは、**片務契約**というものです。**片務契約とは、当事者の一方だけが債務を負担する契約のことです。**つまり、民 (あるいは私) がその債務を果たせなくても、契約を履行するというものです。債務を果たせなくても、いや約束を破っても、片務契約では神がカバーして下さいます。
- ではなぜ、神は片務契約を備えられたのでしょうか。
 ⇒それは「神は愛である」からです。神の愛は、すでにあのアブラハムとの契約で見ることが出来ます。**創世記**

12:1 その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。

12:2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

- 神の本性は愛 (アガペー) です。神の民となった人は、神の子となった人です。どこまで行っても、アガペー愛 (片務契約) によって、破ることができない約束の内にあります。**感謝!**

*新しい契約の第三の特徴は、アガペー愛によって罪が赦されることです。

- ところで、契約ということばは、原語では“diatheke” (ディアテケー) です。この契約を英語では“testament” (テスタメント) と言います。新約聖書を、New Testament (新しい契約) と言います。ところが、この契約 (ディアテケー) という語には、遺言という意味があります。
- イエス・キリストが与えてくださった新しい契約は、遺言とも言える契約です。では、どんな遺言でしょうか。それはキリストが十字架上で死なれたことによって与えられる、信じる者は救われるという約束です。キリストの十字架を信じる者は、その遺言どおり

救われ、罪が赦される、天の御国の子（王子、王女）とされると言うものです。それが新約聖書です。イエスは言われました。ヨハネの福音書

10:9 わたしは門です。だれでも、わたしを通してはいるなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つけます。

- ですから、もう古い律法を守ろうと努力する必要はありません。今でも善行を積もう、そして天国への階段を上って行こうと考える必要はありません。どうぞ、それらを忘れてください。ただ、キリスト・イエスを信じるだけで一方的に結ばれる片務契約です。信じるだけで、罪が赦されるという契約です。なんとという幸いでしょうか。キリストが十字架上で流された御血によって、罪が洗い清められるという新しい契約、それが遺言です。神の遺言はいつまでも有効です。

ま と め

主 題：「神の恵みの内に生きる幸い」

—新しい契約の原理—

- 天地の創造神が与えてくださった「新しい契約の原理」とは、どんなものでしょうか。3点
 1. 思いの中、心の中に書きつける契約
 2. すべての人が神を知る契約
 3. 罪の赦しの契約
- それらは旧約聖書時代、人は願っても入手することはできませんでした。しかし今の時代は、キリストによって、神の恵みの内に生きることが出来る幸いな時代です。
- いかがでしょうか？ 私たちは、その恵みの内に生きる幸いをどれほど感謝しているでしょうか。自問自答してみようではありませんか。

* God bless you !